



遅ればせながら報告 第一回華輪会総会

華輪会が正式発足した年の秋、母校の学園祭「エアラント祭」の日に足並をそろえて、第一回華輪会総会が開催されました。

会場	小田急厚木ホテル "李白"
出席者	72名
テーマ	「再会、そして歩み」
議題	58年度決算報告・監査報告 60年度予算案 同窓会々則改正（承認）他

第一回の総会ということもあり、会員の半数近くの出席で、盛大且つ有意義な時間をもてました。名誉会長の菊池学長先生や顧問である三井先生、永田先生もお忙しい中私たちの会のために御出席下さいました。

ひと通りの形式ばった報告・承認を終え、テーマにもある"再会"をみんなで喜びあい、近況を語りあうなどの華やいだ雰囲気では進行しました。

準備にあたったスタッフも、出席者72名という喜ばしい状態に、それまで持っていた不安も吹き飛び、とまどうことなく、皆との集いにとけこんでいました。時折、会社の話題や休日の過ごし方などを発表しあい、上司の悪口なども飛び出してきて、手をたたいて共感し合ったりしたものでした。学業を終え、学生という、言わば子供の肩書きを卒業した私達が、社会、会社という組織の中でもまれている姿をそこに感じました。そして、この華輪会の中で、何だかなぐさめあっているような気がして、それだけで総会を開いた甲斐があったと実感しました。

さあ、大変なのはこれからです。二年目も更に充実した会を持ちたいものです。それには私達の固い結束が必要であり、強い意識を持たなければなりません。"かりん"第一号でも常にうたってきたように、形式だけでなく、実体のある会を、これからもみんなで造っていきたいものです。そんな熱い思いをこめて、第二回総会の案内をそえて、会員ひとりひとりに呼びかけます。堅苦しい、興味がない、めんどくさい・・・などという気持ちは捨てて、どうぞ気軽に会に足を運んで下さい。

きっと、意味のある集いになることでしょう。

昨年の総会や、学生時代を頭にめぐらせながら、こんな報告をしています。

素顔のままでもいいPART II 卒業生アンケートより

ハイ !! みなさんお元気ですか？

私たち二期生も華論会の仲間となっちはや半年が過ぎましたが、もう会社は「いやだ」などと思っている人はいませんか。そんな方がいたら、このアンケートを読んで少しでも、自分の励みにして下さいネ。苦悩しているのは一人ではありませんヨ！ 一期生の方も一年前の自分の姿を思い浮べて読んで下さい。

今回アンケートの対象は、社会人一年目の二期生だけです。177通出して何通もどってきたと思います？ 63通もどってきました。これは昨年と比べると約二倍ですヨ。みなさん御協力ありがとうございます！ とても感謝しています。

Q1 会社に入っただの感想は？

- A 毎日が充実しているけれど、自分の自由な時間が制限されてしまう。
- B 学生と社会人の責任感の違いを痛感した。

などの意見が大部分を占めていましたが、その他、

- C 想像と現実とのギャップがあまりにも大き過ぎて戸惑っている。
- D 会社案内や説明会には、うそが多く、就職は、就職する者と会社との騙し合いだと感じている。

など、シビアな意見もありました。

- E 短大時代に学んだこと（タイプ・ワープロ）が役に立っている。
- F 短大時代得た資格は特に役に立っていない。

以上の意見が主だったものでした。

Q2 どんな課に配属されていますか？

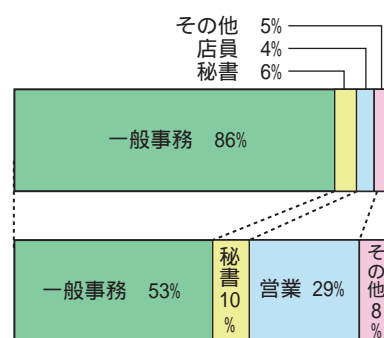
比較表の通り昨年に比べて秘書職についた人数が増えている傾向にあります。

これは、やはり、秘書科である以上、これからも増えてほしいナァと思います。しかし、どんな職種についても、礼儀や、心遣いは、忘れないでいたいと思いますネ。

会社の方から、「さすが、秘書科だけあって礼儀作法が身についているネ」と、言われた方があるそうですが、これは、私たちの理想ですネ。

その他と答えた方の職種は、オペレーター・研究所・旅客課などがありました。

'84・'85年度 比較表



Q3 配属先の男女比はどの位？

- 男性の方が多い・・・58%
- 女性の方が多い・・・23%
- 同数・・・17%
- 女性のみ・・・2%

Q4 配属先の間人間関係はどうか？

- よい・・・73%
- ふつう・・・25%
- 悪い・・・2%

のような結果になりましたが、その理由として、

よいと答えた人

女性の人数が少なく、年齢も近いので話も合うので和気合々としたムードである。
全員か仕事に対し、プロ意識を持っているので仕事に関しては厳しいが、反面、遊びは徹底している。

ふつうと答えた人

全員、表と裏をうまく表現しているので、
男性は全て五十歳以上だから!?

悪いと答えた人

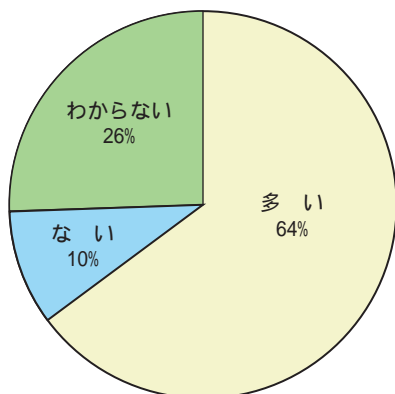
上司が高慢なので職場の雰囲気も悪く、他の人も影響されているから。

という意見がありましたか、今の時点では、人間関係で深刻に悩んでいる人は、ごくわずかで、みなさんそれぞれ職場の人達とうまくやっているように感じました。

ここで、一期生の意見として忠告！

かわいい妹の皆さん達が今はまだ素直に”ハイ”と返事をしてるのと同じように、先輩方も最初はやさしいオネーサマに見えるのですよね。フフフッ。

Q5 社内結婚は、多いですか？

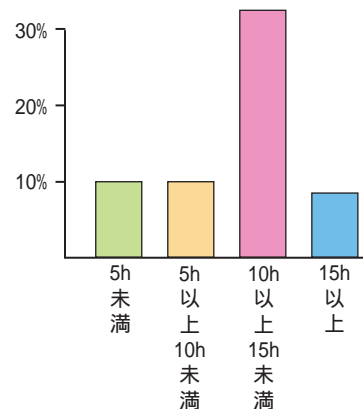


...という結果になりましたか、これは、Q3の男女比からもわかるように、男性と知り合うきっかけが多いからでしょうか.....
あと二~三年後に、結婚相手は、どんな人でしたか!?!? など、アンケートをとったらおもしろいんじゃないかと思っています。どの位の人か社内結婚をしているか楽しみです。

Q6 残業は1ヵ月どの位ありますか？

これは、職種によって大差があるように思われます。一ヶ月に、八十時間以上も残業をしている人がなんと二人もいるんですよ、信じられますか……

残業のある人………62%



Q7 初任給は何に使いましたか？

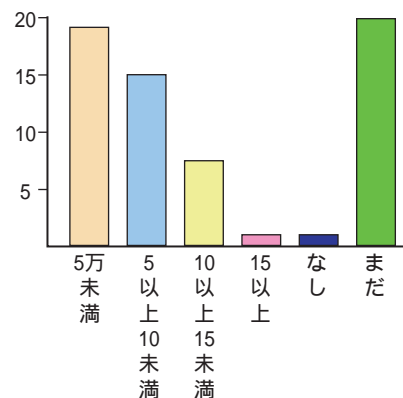
- 1位 プレゼント（家族・親戚）
- 2位 洋服代
- 3位 貯金
- 4位 交際費
- 5位 生活費

これは、予想通りの答えでしたネ。ほかにもおもしろい答えとして、クレジットの支払いがありました。

Q8 ボーナスはいくらでした？

これはアンケートをとった時期が悪くまだ出ていないという人がいました。

まだ三ヶ月しか働いていないのに、二十万もいただけるなんて、信じられないですネ、今の時期でこんなに出るのなら、待ち遠しいのは、十二月！、十二月ですネ。



Q9 学生時代とどこが変わりましたか？

- | | |
|-------------|----------------|
| 視野が広がった | 責任感ができた |
| 生活が規則正しくなった | 朝、早起きをするようになった |
| 二重人格になった | 時間を大切にする |
| とにかく今、勉強したい | とくに変わっていない |

入社したてでの変化は、これから先は毎日が、単純化してあまりないと思うのです。この変化をいつまでも大切にしたいと思っています。

そのうち、毎日毎日時間に流されてしまって、気がつくとも、一年、二年と過ぎてしまい、つまらない女になってしまうのではないかと不安もありますから。

以上が、アンケートの内容ですが、アンケートを集計して、みんなそれぞれ自分の道を進んでいるようでしたネ。

二年間一緒に学んでいた、あの頃がとてもなつかしい気がしました。

”かりん”の編集のために厚木に行くと、学生にもどったような気分になります。今度、是非厚木で集まって、みんなで学生気分に戻って、いつまでも若さ！ 美しさ！ 明るさ！ を忘れないようにしましょうネ。

「東京工芸大学同窓会 六十周年 おめでとうございます。」

去る八月二四日、残暑の中、私達の大先輩である東京工芸大学同窓会の六十周年を祝う記念式典が、東京ワシントンホテルにおいて盛大に開催されました。兄妹校である私達華輪会本部にも御招持状をいただき、会長である私が恐縮ながら出席させていただきました。

会場にはいると、すでに大勢の同窓会会員の方々がいらして、その立派な物ごしを見ただけですぐに緊張感を覚えました。式では、各支部代表者のごあいきつがあり、その言葉の端々に同窓会の長い歴史と、会をここまで統率してきたという努力が伺えました。

そして、六十周年という区切りを迎えられたという喜びに満ちている姿を目の当りにしました。

式が進むにつれて、私の思いの中に今までと違った緊迫を感じ、そして、新たなる決心を抱きました。華輪会の六十年後、いえ十年後の姿きえ見当がつかないのです。中野の同窓会とは規模・経験・実績が違いすぎます。まして私達はまだほんの駆け出しです。さて、これから先、どうやって歩いて行けばいいのだろう。そんな不安が私にのしかかってきたのは事実です。

式典後の懇親パーティーで、私は工学部同窓会の今井副会長さんとお話することができました。「なあに、これからですよ。」今井さんのそんな言葉に、「マイペース、一步一步。」と返答した自分にハッとしました。そして、自然に出てきたその言葉を心に焼きつけ帰ってきました。前進も失敗も戸惑いもすべてこれからですよネ。こんな素晴らしい発見をさせていただいた同窓会の皆さんに、改めて感謝致します。

私達、がんばります。そして、これからも、どうぞ見守っていて下さい。



かりん第一号でもご紹介しましたが、従来の第一校舎の裏に、新しく四階建の第二校舎が完成しました。そこで、大きく変貌した母校になかなか足を運べない卒業生の皆様に、紙上見学会をしていただきますよう。



まず外観は . . .

第一校舎はところどころ丸みを帯びた部分があり、どちらかというとな性的でしたが、第二校舎は角ばっていて男性的な感じです。また、白一色で少々淋しかった外壁も、白地に茶色のタイル貼りになり、若干、華やか(?)になりました。

それではいよいよ校舎内へ足を踏み入れてみましょう。

1階 . . .

全学生を一度に収容できる大教室と、就職資料室、普通教室二つがあります。全クラス合同の講義や、学友会総会の時など、工学部の教室をお借りしなければならず、遠くまで歩いて行ったことが思い出されますが、もうそういうことはなくなりました。

その大教室は、「やっと大学に采たという気分」(某在学生談)という言葉通り、私達が抱いていた大学のイメージ「階段教室」なのです。黒板はボタンひとつで上下に動き、映写室もあります。もちろん冷暖房完備で、うらやましい限り。また、連絡協議会でも再三お願いしていたピアノも設置され、コーラス部も新設されました。

1階から2階へ . . .

階段は広く、踊り場のようにになっている所があり、窓は全面ガラスで太陽がサンサンとふりそそがれます。ここから見える緑は最高。都会のビル街で働く皆様は必見ですよ。

2階 . . .

普通教室三つ。ちなみに、我が華論会の顧問、三井、永田先生の研究室もあります。

3階 . . .

パソコン室その他。充采のハソコンの他、大型コンピューター一台とその端末機二五台を設置。来年度のコース別定員増に向けて(秘書科 . . . 秘書実務コース、情報処理コースに分かれ、定員増されます)新機種が購入されます。もちろん、この教室も冷暖房完備です。

そして4階 . . .

中教室二つ。三四五人収容できます。ここで画期的(?)なことは、長時間の講義には耐え難かった木製の椅子ではなく、大きく、座り心地のよさそうなビニール貼りのスチールの椅子が並んでいたことです。木製椅子のみで授業を受けた我々などは、思わずいねむりしてしまいそうな優雅さですよ。

いかがでしたか? 素晴らしい現場の中でもう一度勉学にいそしみたいと思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。それはかなわないとしても、後輩諸君が素敵な学生生活をおくれるように祈りたいですね。



私のふるさと



拝啓、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は、卒業と同時に小田原から新幹線こだま号大阪行で富士山に見送られ、再び「夜のお菓子うなぎパイ」の浜松に戻り、実に地味な生活を極めております。

暗いイメージを背負った浜松にも、一応サーファーといわれる人もおりますが、波に乗りきれずうなぎと戯れているというのが実のところ、やはり明るきにはもう一歩です。

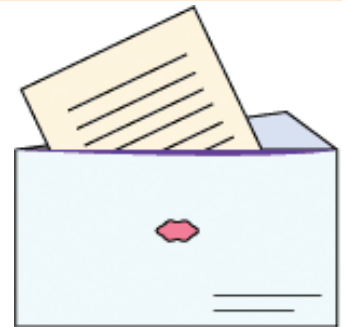
しかし、日中、三大砂丘の一つである中田島で大凧をあげ、夜は浜松のメインストリートを練り歩く、ただ見ているだけの人には、単なるおしくらまんとうでしかないと思われる、ゴールデンウィークに繰り広げられる熱狂のパフォーマンスである浜松祭りをはじめ、夏は祭りにつぐ祭りで、一瞬の盛り上がりを見せます。

そこでおすすめしたいのが、ポスト秋芳洞をめざす、オオコウモリの生息する竜ヶ岩洞。また、黄金の大滝にうたれ、廃線になるとうわきされる国鉄二俣線御座数列車で、天竜川の夜空を七色に彩る一瞬芸や、ナイアガラの滝をみる鹿島の花火大会。昔、菅原文太のウイスキーのCMにみられた、真に男の世界と呼ぶにふさわしい、新居の手筒花火、そして、御食事は、グランドホテル浜松のシェフ長がおすすめする、うなぎのミルクフイーユをはじめとするコースディナー、“浜名湖の夏”、をお届けします。

テクノポリス構想に、今着実に変身を遂げようとしている、伝統と維新のぶつかりあう浜松で、愛と冒険の感動のドラマをつくるジョイフルナイトツアーに、皆様おさそいあわせのうえ参加されてはいかがでしょう。

まずは浜松のごく一部の紹介まで、悪文にて、失礼いたしました。

かしこ



華輪会からおねがい

- 転居等で住所変更なされたかた、ご結婚で姓の変わられた方は、女子短大内華輪会事務局までご一報ください。
- “かりん”に載せる記事、写真を募集中！表紙PHOTO、吉報、わがふるさと、その他なんでも結構ですので、事務局宛お寄せ下さい。卒業生みんなの“かりん”にしましょう。

Salon de Karin

- * ある日突然発見してしまった。化粧しながら笑った時の目の下のシワ。
- * 日焼けしすぎてお肌にシミができてしまった人へ……しかたがありません。もうお年ですから。
- * 大いに遊んでいますか？ お金ためてますか？ 結婚について考えはじめましたか？ 実は、オフィス・ラブしてたりして。 (“かりん”が “ふりん”にならないよ - にネ。)

年間行事

昭和60年5月	第1回常任委員会
7月	第2回 “ ”
	第1回会報編集会議
8月	第2回会報編集会議
9月	第3回常任委員会
10月	会報発行
11月	第2回華輪会総会
昭和61年2月	第4回常任委員会

華輪会OFFICER

今年新たに私達二期生が加わりました。一期生共々 ヨロシク！

勝俣 聡子 (カイチョ -)

横木あゆみ (あゆん)

高橋 博美 (チ -)

稲川 容子 (組長)

松島みゆき (みゆんげ)

豊田 貴子 (トヨ)

伊沢みゆき (み - ちゃん)

・・・と呼んで下さい。

第二回 華輪会総会

第二回華輪会総会は采たる11月17日(日)に開催いたします。当日は、エリアント祭とも重なりますので、ぜひご参加下さい。なお、詳細につきましては別紙をご監下さい。

吉報大特集

- その1 わが華輪会の顧問、三井、永田両先生が、この度、助教授になられました。バンサイ！
- その2 英文タイプの母、藤波先生にかわゆい二世誕生。お名前は佐代子ちゃん。事務室の花だった野原(稲垣)さんにも女の子誕生。おめでとうございます。
- その3 華輪会々長 岡村江美子さんがめでたく「ミス若人」(厚木市の見せもの) に選ばれました。つつしんで 申し上げます ガハハッ！

おしまいにひとこと

ピカピカの “かりん第二号” をお届け致します。日毎に増してゆく雑事をふりきり、深夜におよぶ執筆作業の末、ようやく完成しました。このパワーには私達も驚きました。さてさて、みなさんはいかがお過ごしですか？ 一期生はやっと仕事に慣れ、そろそろ自分の時間が持てるようになった頃、二期生は “結婚” の二文字が気になりはじめた頃ではないでしょうか。いずれにしても楽しい日々を送りたいものですね。今やらなければ、永遠に何にもできない女になってしまいますから・・・。

それでは、総会でみなさんにお会いできること楽しみにしています。